



みずなみ防災会 女性部会便り

令和5年度第1回女性部会開催しました

令和5年4月14日、本年度第1回の女性部会を開催しました。今回の参加者は7名。

今回の集まりでは、以下の内容を主として、これについて、各々が感じることや思う事等、忌憚のない意見を出し合いました。

1. みずなみ防災会の活動報告
2. 女性部会 令和5年度活動スケジュールについて
3. 女性部会 令和5年度活動内容について
4. みずなみ防災会活動計画について 女性部会としての追加事項
5. 「瑞浪市デジタル田園都市国家構想総合戦略推進会議」 会議参加者の選定

議題についての意見交換は当然ですが、さらに自身の経験を活かしたうえで、自身に何ができるか、何をしたいかなど、メンバーそれぞれの思いがあります。その意見を元に、これからみずなみ防災会会員として何をしたいか、何ができるか、自分がどのように防災に携わることができるか、積極的に発言する場となりました。

1. みずなみ防災会の活動報告(部会長より)

部会長より、最近(令和5年1月~3月)の防災会の活動報告がありました。

みずなみ防災会の活動は、公式LINEやHPなどで紹介されています。それを踏まえて以下の意見がありました。

LINEやHPで情報発信はされているけど…

- ・LINEで活動情報が配信されるが、写真が多く具体的な研修内容や訓練の詳細、現場ではどのような方が参加されてどんな様子だったか、よく解らないので詳細を知りたい。特に実施内容を。
- ・研修にはみずなみ防災会の一般会員も参加することができるの？自身も防災の知識を身に付けたいし、経験をしたい。訓練実施を事前に知ることができ、参加が可能であれば参加したい。
- ・大湫町総合防火訓練や公園区の防災訓練などに訓練に赴いているようですが、依頼があって出向いているのでしょうか？どのようなところから依頼がありますか？その訓練には、一般会員は参加協力することはできないのですか？



などなど…、皆さん訓練の現場に赴き、住民に何が必要とされているか、こういう現場で自身なら何ができるのか、と探求心があり積極的です。

2. 女性部会 令和5年度活動スケジュールについて

3. 女性部会 令和5年度活動内容について

4. みずなみ防災会活動計画について 女性部会としての追加事項

女性部会での今後の活動や年度スケジュールについて話し合いをしました。自身のしたいことや、地域で自身が防災士として何ができるのか、もっと防災士として勉強したい、と皆さん今の自分に何ができるのか模索中です。

防災士の資格は取得したが、自身の経験値や知識に自身がないので…

- ・自身は資格を取得したが、何ができるのか？ 防災会で研修をしてほしい。「どんな研修をして欲しいか？」と問われるかもしれないが、とにかくすべてが学びだと思うので研修を受けたい。活動報告では、理事の皆さんは研修などに行かれている(名古屋大学減災館など)。理事の皆さんが、研修に参加したことを活かして、自身の地域の会員への指導・研修をしてくれるなどの機会があるといい。
- ・防災士の資格を取得し、「もう少し自身が防災士としてスキルアップしたい」という思いでみずなみ防災会に入会した。一般会員でも参加できる研修をして欲しい。コロナ禍が関連することも理解できるが、ロープワークなども一度の研修では、自身一人で実践することが難しく、やはり何度か研修などで実践して身につくものだと思う。

こんな活動してみたい…

- ・子どもたちに防災がどのように必要か、何が大切なのか啓蒙活動をしたい。幼い頃から意識させることは大切なのではないか。過去に起きた災害をきっかけとして、子どもにもできることがあると思う。“子どもの自分でも役に立つことがある”、と感じさせることは大切だと思う。学校でできたらいいと思う。
- ・災害時だからこそ、いかに食事が必要か知って欲しい。食べることは生きることにつながる。食べることから、その食事内容をいかにバランスよくとることが必要で、どうしたら災害時でも栄養に偏りのない食事をとることができるかを知って欲しい。非常食は保存期間が長いから、備えればそれで満足してしまう。しかし、いざ準備してもそれが口に合わないこともある。そういうことが無いよう、普段から普通のレトルトなどの食事、自身や家族の口に合うもの、食べ慣れているものを用意して、ローリングストックの対象とする食品を考えてもらえるようなことを発信したい。
- ・正直、防災士として自分に何ができるか、そこまで知識も経験もない。しかし、防災は非日常ではなく普段から意識してほしい、日常のものであると地域の人に広めることができるようにしたい。

令和5年度はまだ具体的な活動案を見出すことは難しく、女性メンバーがまず何をしたいか、ということについて焦点を絞るために意見を出し合う年度とすることにしました。

みずなみ防災会の組織運営について…

防災会の運営について、参加者から意見・質問がありました。

- ・防災会の活動計画、過去の総会資料を再確認したが、何を何月頃に実施するというのをある程度予定でもいいので決めてもらえると、こちらも予定が立てやすく参加しやすくなると思う。
- ・総会資料は、理事の皆さんが確認・承認のうえで作成されていると思うが、毎年特に事業実施時期などの詳細を求める意見は理事の皆さんからはないの？理事の皆さんも、予め“何月に何がある”とわかっていた方が活動しやすくない？理事の皆さんと実施時期など話し合ってから承認を得てから総会資料を配ってほしい。
- ・総会資料が毎年総会前に郵送で送られてくるけど、総会時に配ってもらえればいい。郵送費が余分にかかるような気がする…。

せっかく出された意見・質問なので、理事の皆さんにも検討してもらえよう、理事会にて提案したいと思います。

女性部会会議の開催について、今までは3か月に一度の頻度での開催としていましたが、一度欠席してしまうと、次に顔を合わせるのは半年後、という事態になる場合があります。意見交換や提案の場はもう少しあってもいいのではという意見もあり、令和5年度からは、一か月に一度の頻度で開催することになりました。毎月第2木曜日・19時より部会を開催します。当然強制ではありませんので、都合がつけば参加する形で運営をしていきます。

5. 「瑞浪市デジタル田園都市国家構想総合戦略推進会議」

会議参加者として部会長中村佐記子さんを選定

国において、まち・ひと・しごと創生法が制定され、瑞浪市でもその施策を勘案し、地方公共団体における人口の現状と将来展望を提示する「地方人口ビジョン」及び地域の実情に応じた今後5か年の施策を提示する創生総合戦略の策定に努めることとなりました。令和2年度～令和5年度にかけて、瑞浪市デジタル田園都市国家構想総合計画戦略が策定されることとなり、それに関連する会議のメンバーとして、瑞浪市役所企画政策課より、みずなみ防災会から女性を1名選出して欲しいとの要請がありました。

話し合いの結果、女性部会長である中村佐記子さんを選出するという事と決定しました。

今回の非常食試食

今回の試食は…

「アレルギー物質28品目&ナッツ類不使用 尾西のライスクッキー」(259円)

「やまチョコ」チョコレートではじめての日本災害食に認証取得(540円)

“ライスクッキー”は保存料不使用でイチゴ風味。多少パサパサ感はあるものの、イチゴの風味が強く「災害時に甘いものが欲しいときにはいいよね」の感想。

“やまチョコ”は意外と違和感なく普通のホワイトチョコレート。非常食というよりは、登山向けのもので、暑さに強く、溶けにくい。賞味期限は製造年月日から365日で普通の非常食と比較すると短いけれど、チョコには(甘いものには?)ストレスを和らげる効果があり災害時にも最適!かと。



女性部会長より

みなさんがこれだけ防災に対して積極的に携わりたいという想いや防災会の活動を活発にしたいという想いを持っていていっしょにすることが分かりました。意見をありがとうございます。今後はその想いをつなげられるような活動や研修ができるよう防災会に提案していきたいと思えます。

また、みなさんとこれからどのような女性部会としての活動ができるか、とても楽しみになってきました。毎月第2木曜 19時からハートピア2階で開催することになりましたので、楽しい雰囲気の中、いっしょに何ができるか考えていきましょう。



皆様のご参加
お待ちしております。

【次回 第5回みずなみ防災会女性部会】
開催日:令和5年5月11日(木)19時~
会場:ハートピア2階 於

《発信元》

みずなみ防災会 女性部会 事務局

〒509-6195 瑞浪市上平町1丁目1番地 瑞浪市役所 生活安全課内 TEL.0572(68)9736